

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談

2. 日時：令和4年8月19日（金）15時30分～17時15分

3. 場所：原子力規制庁 16階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、

小舞管理官補佐、荒井安全審査専門職、加藤原子力規制専門員

文部科学省

原子力課

横井原子力研究開発調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 本部長 他3名

高速増殖炉もんじゅ 廃止措置計画課長 他8名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

資料0：説明スケジュール

資料1：高速増殖原型炉もんじゅ 性能維持施設について

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それでは本日の面談始めさせていただきたいと思います。では早速、資料に基づきまして、以前お送りいただきました資料に基づきましてご説明をお願いいたします。
0:00:12	はい。それでは原子力機構の城でございます。本日、Headご用意している資料は、2種類になります。
0:00:20	今お手元にあるものが説明スケジュールの右肩に資料0%というふうに聞いているものがあると思います。こちらは、7月の28日の今後の審査の進め方についてですね、こちらからご提案させていただいたときに、
0:00:36	いろいろコメントいただいたところありましたので、それを反映して、スケジュールを入れたというものでございます。
0:00:43	それと、事前にお送りしているものとして、
0:00:48	112ページものの資料、こうあります。性能維持施設についてというのがございます。これ、一部ですねちょっとそのあとを追記、修正したところがありますので、まだちょっとその辺もご説明させていただければというふうに思っております。よろしくをお願いいたします。
0:01:04	それでは資料の0番の方からへ、修正点をですね、簡単にご紹介をさせていただきますたいというふうに思います。
0:01:12	まずは、前回、7月の28日に実施させていただきました面談の中で、ご指摘がございました、保安に関する組織、こちらについては、
0:01:24	8月の24日の水曜日にですね、ご説明をしたいというふうに考えております。
0:01:30	それと、添付書類5というところに、汚染の分布とその評価方法に関する説明書があります。こちらもご説明、
0:01:40	する必要があるのでしたので、9月7日に説明させていただきたいというふうに思っております。
0:01:46	それで本日予定しておりますのは、合い措置計画の本文六、七、添付書類6に関係する衛星の事実関係の話になります。
0:01:57	ただこの中でですね維持期間が終了した性能施設の記載方法、こちらについては少しまだ機構内での保険等調整が進んでいるところになっております。
0:02:09	ですので、申し訳ございません。この点だけはですね、9月の7日にやらせていただきたいというふうに考えておりまして、説明スケジュールを記載の通り、修正をさせていただいております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:22	まずは、当資料の0番について、今後の説明スケジュール機構側の希望はこのような形なんですけれども、いかがでしょう。
0:02:34	それでよろしいですねはい。よろしくお願ひ。わかりました。それではですね、性能維持施設の資料の方のご説明をさせていただきたいと思ひます。
0:02:43	説明の方なんですけれども、事前にお送りはさせていただいておりま す。
0:02:50	ので、かなり資料のボリュームがありますので、ポイントをですね、ち ょっとご説明をさせていただくという方向でよろしいですかね。はい。 こういう説明していく前にですね、最初冒頭に、どこをちょっと事前に 送ったところから変えたんだ。
0:03:06	いうところをちょっと紹介をさせていただいて、それから頭から順番に ポイントだけご説明するというふうにさせていただきたいというふうに 思ひます。
0:03:14	では、担当の方からご説明をさせていただきたいと思ひます。よろしく お願ひいたし
0:03:21	図の着手でございます。よろしくお願ひいたします。
0:03:24	まず、事前にお送りしました資料からの変更点でございますけれども、
0:03:30	2ページ目ご覧いただきまして、さんぽちいの性能施設に係る性能及び 言ってくれて、事前に送っていただいた資料が変更があると。
0:03:40	そうなんです。ちょっとだけ修正を入れ、
0:03:43	そしたら、それは
0:03:46	ウェブで出席してるものには、
0:03:49	出ないので、
0:03:52	はい。たくさんあるんですか。いや、いや、だけど、ピッて僕自体が ね。
0:03:58	右下の112分が4ページ。はい。
0:04:06	2ヶ所だけなのでちょっとだけで、産物の性能施設の性能及び期間のと ころで、真ん中ぐらいに性能についてはっていうところがあると思うん ですけれども、ここについて、
0:04:19	もともとですね、性能についてはこれまで議長認可通りとしていて、 云々かんぬんのくだりの中で、提示ケインをすでにやっているなので、そ の内容を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	性能として反映したみたいな文言になってるんですが、ちょっと日本語を書きかえまして、なお書きで手付のところを後ろに持っていったというな、
0:04:41	内容としては変わってないんですけども、体裁を少し整えたというようなことをしております。はい、他の修正箇所そのレベルであれば、はい。
0:04:51	はい。であれば、読み進めていきながら若干修正しましたというのは、何か。はい。
0:04:58	わかりました。はい。では早速説明の方に入らせていただきます。
0:05:03	で、事前に
0:05:06	いただいておりますコメントといたしまして、性能維持施設の台数を変更するのであれば、その内容を詳しく紹介して欲しいという内容であったり、
0:05:18	あとは性能を許認可から変更したのであれば、その内容をどのように、ご指摘
0:05:25	1点。
0:05:25	あとは、維持期間の中で、ナトリウムのクリームをタンク等に固化するまでといったところについて、若干
0:05:35	いつ終わるかわかりにくいといったところの、
0:05:39	コメントをいただいています。
0:05:41	それからリカバリープランにつきましては、保安規定で記載しているところの流れがどうなのかといったところも、コメントいただいておりますので、本日の資料の中には、
0:05:51	そういったところも含めて記載をいたしました。
0:05:55	資料112分の3ページ目になりますけれども、
0:06:02	2ポチの性能施設の抽出のところ、
0:06:06	第3パラグラフのところ、ここからが今回の申請の中で、性能維持施設の抽出についてのご説明となります。
0:06:17	段階的に変化します。プラントの状態に合わせて、重要な安全機能を直接責任な機能に加えて、サポート機能を有するような施設につきましても、
0:06:29	高性能施設として抽出をしてございます。
0:06:33	具体的には以下の施設を抽出したいということで、①番から④番の内容を抽出してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:42	ここで、別図 1 別図 2 別 3
0:06:46	というものが出てきますけれども、
0:06:48	5 ページで言いますと、
0:06:55	112 分の 9 ページ目からが別関係の資料となります。
0:07:01	以前、面談の中でご紹介いたしましたところで、敦賀本部大で機能施設の考え方統一して、抽出するというので、
0:07:12	安全に関する設備それからそれを補足するような設備も含めて、性能施設とするということをご説明いたしましたけれども、その辺りの関係図を、
0:07:23	次のページも含めて、出しております。
0:07:27	具体的に抽出したときのフローにつきましては、11 ページ目に記載してございますけれども、
0:07:33	このひし形の①番から④番を本文の中に
0:07:39	ような、
0:07:43	本文に戻っていただきまして、112 分の 3 ページ目でございますけれども、一つ、①番としましては、廃止措置段階でも重要な運営機能を有する。
0:07:54	については性能維持施設として A C 系
0:07:58	また、大規模損壊等全廃用で使用する施設についても同様でございます
0:08:03	もう図の作成、考慮して
0:08:06	見てくるでしょ。
0:08:08	最後に、安全確保ちょうど必要な施設というものを抽出いたしました。
0:08:13	こういった内容を抽出しますと、現状 6-1 表に記載してございます設備の中にも、安全に寄与しない設備というものが一部出て参りますので、
0:08:25	それは、4 ページ目に記載しました表の排水処理施設、
0:08:30	それから、非管理区域の関係
0:08:33	こういったものが安全には来ないというもので、自主的に管理をいたします。
0:08:39	ただ、性能維持施設から外れますけれども、自主的に管理をいたしますので、保全計画の中で管理方法をしっかりと定め、
0:08:49	自主的に管理をしていくものでございます。
0:08:54	3 ポチの性能維持施設に係る性能及び期間でございますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:59	第2パラに書いてありますところで、性能施設に関わる必要な性能及び維持期間については、基本的な考え方として、以下のように考えて、
0:09:12	性能施設については、これ駅認可通りとしてございましたけれども、内容分具体化するために、今回の変更申請におきましては、
0:09:22	設置許可を2技術基準、保安規定、設計図書類から、
0:09:27	機能性能に関わる記載を抽出して記載してございます。
0:09:32	この内容につきましては、すでに実施しております、定期事業者検査の中で、その精度を確認していくということを実施してございますので、
0:09:42	この定時不定事件の中においては、現地の検査官の、
0:09:48	含めまして、内容をご確認いただい
0:09:51	たところでござい。
0:09:54	その下、両括弧1番からにつきましては、具体的な施設について、どう いう、どのように管理をしていくのかというものを記載したところでご ざいます。
0:10:06	本会議は、両括弧一番、これまでは燃料体の取出しを、を行う設備を性 能維持としてございましたけれども、第2段階におきましては、
0:10:16	遮へい体の取出しということに変わりますので、
0:10:20	4ページ目の一番下からでございますが、
0:10:23	遮へい体等取り出し作業におきましては、燃料体の取出し作業時と同じ 施設は用いますけれども、
0:10:31	当初とは原子炉容器のナトリウムの液が異なり、
0:10:35	燃料取り出しではN-Sでしたが、遮へい体という出し手はもう少し低 い液位のS s-Fというところで維持管理をしていきますので、
0:10:46	今後、十分な案件1事件をするまでの間は、
0:10:50	ナトリウムの液を上げるための、
0:10:52	純化系であるとか、ITを変更するために、
0:10:56	ものにつきましては、
0:10:58	リカバリープランで使用するということで、性能施設といたします。
0:11:03	ここでリカバリープランで使用する施設でございますけれども、維持期 間がナトリウムのタンク等に、
0:11:10	までというふうに記載してございまして、
0:11:13	1件段階においても、ナトリウムがバックに動かして伺い、
0:11:18	これまで設備の点検等におきましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:23	系統からのナトリウムをタンクに2ドレンし、固化し点検した後、再度要員をして、充填するというようなことで、一時的に動かした状態であれば、性能維持施設の維持期間は終了しないと。
0:11:38	というような判断をしてございましたので、
0:11:40	今回のリカバリプランにつきましても、
0:11:43	使用する時におきましては、再度ナトリウムを用意して使うという観点において、一時的な効果だというふうに判断してございますので、今はナトリウムをタンク等に降下するまでという記載としてござい
0:11:58	今後遮へい体の取出し作業で経験を十分積んで、リカバリプランがなくとも、
0:12:04	十分に人遮へい体の取り出しが行えると。
0:12:08	いうことを判断できましたら、これらのナトリウムの左右不要と。
0:12:13	ありますので、不具合におきましては、
0:12:17	タンクを恒久的に固化、
0:12:19	いうことで、1期間が終了すると。
0:12:24	両括弧2番からにつきましては、これまでの設備を記載してございますので、
0:12:31	両括弧8番よ、6ページ目の(8)番まで、
0:12:36	飛ばします。
0:12:38	両括弧8番につきまして、ここが台数を減らすとか、そういったところの内容でございます。
0:12:49	出力運転を前提として、当初は設計してございましたので、
0:12:55	過剰な設備の容量となっております。
0:13:05	ただしですね、廃止措置段階におきましては、
0:13:10	出力運転時とは必要な設備の容量が違いますので、廃止措置の第二段階の開始時点において、必要な性能が何で、
0:13:20	いうところを別表1に整理してございます。
0:13:25	結果といたしましては、原子炉補機冷却水ポンプであるとか海水ポンプ換気系統の維持台数を適正化すると。
0:13:33	いうふうにしてございます。
0:13:36	別表一位の中でですね、ベースで言いますと、
0:13:41	13ページ目になりますが、
0:13:44	1回数を変更する性能、
0:13:47	ちょっといたしまして、先ほど申し上げました施設について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:53	左から半分目の別に、地域の認可では難題を求めている、今回の廃止措置計画での維持台数が何台かというところを記載してございます。
0:14:05	この表につきましては、維持台数を変更するものをのみの表でございますので、その台数が変更し、削除した理由というものを一番右に記載をしました。
0:14:19	紹介しますと、一番上の原子炉補機冷却水、熱交換器であれば、金町民課は4基としたなっておりますが、
0:14:29	今回は3基としております。
0:14:32	削除の理由といたしましては、当初の既許認可の台数として、A B系に各1基、C K仁木の合計4基を設置してございましたけれども、
0:14:43	C系の主要な負荷が、一次系の主循環ポンプのモーターに電源を供給するような設備に冷却要請をすることになってますので、
0:14:53	それはいらなくなったところを熱負荷を再計算すると、三分機種武智三条1キロから、李と青葉。
0:15:02	ということになりますので、1基の熱交換器で十分考えるということになる。
0:15:10	で、今の容量計算の詳細につきましては、別紙1ということで、21ページ目から別紙をつけてございますが、
0:15:21	少しページをめくっていただきまして、
0:15:27	27ページ目に、その辺りの熱負荷の容量計算、それから水必要水量の計算を
0:15:36	資料をお記載してございます。
0:15:39	設計時というのが定格出力で運転した場合の熱カトウ水所。
0:15:45	原料というのが廃止措置の第2段階になったときにも必要なのかと。
0:15:51	ということになります。
0:15:53	次ページ28ページ目の一番下を見ていただきますと、先ほど申し上げました合計の熱負荷と、
0:16:03	容量を記載してございますので、こういった形で、今のプラント状態において、どれだけ必要な容量があるのかといった評価をした上で、
0:16:13	必要な台数を算出したというものが調べてください。
0:16:21	同様に、13ページ目に戻っていただきまして、
0:16:24	原子炉機器冷却水
0:16:27	水ポンプにつきましても、5台から販売に変更いたしますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:32	これにつきましては、B系に各1台、C系に50%容量のポンプ車3台の部材が設置されておりました。
0:16:43	C系につきましては、50%3台でございますので、2台で100%、1台が予備機というような構成でございます。
0:16:55	その中で、AC系の方を主要負荷につきましては、必要流量の中で、それを下回るというような評価をいたしましたので、
0:17:07	2台を削減しても、1台で十分賄えます。
0:17:11	というようなところでの1台数を設定いたしました。
0:17:16	海水ポンプについても同様でございます。
0:17:20	予備となっておりましたシーケンについて、1台を削除するというような内容でございます。
0:17:28	1ページ、14ページ目の一番上になりますが、
0:17:33	エリアA、エリアモニタリング設備につきまして、54台から45台にもいたします。
0:17:41	削減運用といたしましては、性能トレイがないようなエリアに設置最小で設備について、削減すると。
0:17:50	いうことを考えてございます。
0:17:52	一つ目といたしまして、燃料体の取出しが終了して、放射線レベルの変動がない。
0:17:59	ところについては、削減率で、
0:18:02	また2番目については、これまで友人と行わなかった、これからも行わない。
0:18:09	変動しないであろう場所。
0:18:10	についての台数を削減してございます。
0:18:15	別紙2が29ページ目から、その詳細評価をしたところになりますけれども、
0:18:30	32ページ見ていただきまして、32ページ目にも①②③でございますが、
0:18:37	いや、先ほどの表中に示しました。
0:18:42	①番②番がこちらの①番②番になります。
0:18:47	③番につきましては、現現在の申請におきましては、まだ維持台数は減らさないまでも、今後、第2段階での、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:57	遮へい体の取り出しが進んでいくと、その中で、原子炉起動用の中性子集合体というものもとりあえず出しますので、その取り出しが終了すれば、
0:19:08	③番に記載してございます、運転床の2台、E V S T、
0:19:14	炉外燃料貯蔵槽状物質の
0:19:18	中性子のモニター、これについてもいらなくなりますので、そういった今後を見据えたところも③番として記載してございます。
0:19:30	そのあたりの詳細については、34ページ目以降の表の中で、削減するエリアモニター
0:19:38	のどういう理由で、
0:19:41	場というものを詳細に示したものと、
0:19:45	それから、
0:19:46	最終的には、第1段階では45台を維持すると申し上げましたけれども、表2では、その45台の内訳を見まして、
0:19:57	していくか、
0:20:05	本文の中、
0:20:08	14ページ目、戻っていただきまして、
0:20:12	エリアマネージャーの下、アニュラス循環排気装置になりますが、
0:20:17	こちらにつきましては、100%容量の排気ファンが2系統ございましたけれども、
0:20:25	廃措置段階におきましては、これらは、1台により、
0:20:29	いうふうに考えられますので、この予備費を削減したものでございます。
0:20:38	その下、格納容器換気装置につきましても、50%服の空気感判断系統ございましたので、それを2系統から1系統に削除。
0:20:51	えっと空調関係のパターンといたしましては、先ほどの読みと考えられるものを削除したのと、この格納容器の監視装置というのと、
0:21:02	50%のものが2台で100%、
0:21:05	を出していたところを、50%の出力に抑えられるような、削減となりますけれども、
0:21:13	廃止措置前から比べますと、沖野梅津量が非常に小さくて、
0:21:19	50%の換気能力であっても、30度以下に保つことが可能ですので、外気温とさほど参照のない程度の多くでございますから、
0:21:31	プラント運転には支障かなという、削減です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:34	その評価としてございます。
0:21:37	移行を関係につきましては、今のような内容で、
0:21:45	予備機のを削減するか、もしくは、50%ではあるけれども、現状のプラント状態では、10分に
0:21:54	運転に支障がないレベルだと、いう記載をしてございます。
0:22:00	それがずっと続きますが、この表で言います、20ページまでが、同様の記載の内容となります。
0:22:25	6ページ目に戻っていただきまして、
0:22:31	基本的な考え方につきましては、予備機もしくは機能が付与するまた設備について、今回は削除いたしますけれども、
0:22:40	具体的には、そういうところに記載しました通り、継続して使用するような施設につきましては、自主的に管理をいたしますので、これまで同様に、保全計画の中で、
0:22:52	しっかりと維持管理をしていくというところにつきましては変わらないものでござい
0:23:00	A4ポツの性能施設の位置構造設備並びに賛成の方に関するところでございますが、
0:23:08	なお書き以降のところ、今回、遮へい体に取り出して用います。万が一の場合のリカバリープランで、どういった施設を使用するのかと。
0:23:20	いうところを記載してございます。
0:23:23	システムとしましては、下に五つほど並べておりますが、これがリカバリープランで使用する設備になります。
0:23:33	最後、No5ポツの性能施設の維持方法及び、施設管理のところでございますが、
0:23:41	質問にありました性能施設の維持管理を、保安規定の中でどのように解釈。
0:23:50	これを、
0:23:51	中断。
0:23:53	少し下のなおの見直し以降に記載しましたけれども、
0:23:57	リカバリープランで使用する機器につきましては、
0:24:01	技術とすると保安規定、103条に定めます、特別の保全計画で維持管理を行うと。
0:24:07	ことを、廃止措置計画の中には記載してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:13	特別な保全計画でございますけれども、地震や事故といった特別な事象が起きた場合に、急ぐ保全を定めるものであって、
0:24:25	ルーチンワーク的にやっている点検とは違うものはすべてこの保全計画として管理をすると、というような内容になり、
0:24:36	これまで水系であるとか、固体廃棄物処理設備、
0:24:40	長期的に停止をする設備につきましては、特別な保全計画で管理をいたしました。
0:24:49	他方で、炉外燃料貯蔵槽冷却系といった、一時的に融資をする設備についても特別
0:24:56	計画で完了してきており、
0:24:58	リカバリープランに使用する設備につきましても、この校舎の一時的に休止をさせる設備に該当すると考えてございますので、
0:25:08	103 条の特別な、
0:25:09	メーカー、
0:25:11	いうことを念頭に置いてございます。
0:25:15	特別の保全計画で吸収として維持管理する場合におきましては、点検期限を迎えた場合であっても、その機器を使用する段階におきまして、健全性を確認し、
0:25:28	定期事業者検査にて性能を確認した後、使用することとなります。
0:25:35	ただし、
0:25:36	点検に時間を要してしまうと、リカバリープランの発動に時間がかかるということになりますので、点検が長期間要する、分解点検であるとか、
0:25:47	簡易点検、取りかえといったものにつきましては、
0:25:53	計画的に点検をし、リカバリープランが速やかに実施できるように維持管理をしていく。
0:26:00	いうことを、を考慮してございます。
0:26:04	リカバリープランにつきましては、プラント状態に応じて使用する設備が異なって参りますので、それはこの規定に基づく品質マネジメントシステムの中で、管理をしようと考えてございます。
0:26:19	別予算。
0:26:21	ということで、
0:26:23	ページめくっていただきまして、12 ページ目にですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:27	どういった場合に、リカバリープランを使用するのかというのをフローとして示してございます。
0:26:36	遮へい体の取り出し中におきましても、定期的にある部分が、分析であるとか登録の監視は定常的に実施をいたしますけれども、
0:26:46	ここの中で、登録の上昇がありましたら、アルゴンガスを分析し、その中の不純物があるのかないのか増える。
0:26:55	いったところを判断をし、アルゴンガスのパーツであるとか、パッシブ2分析をし、その状態がどうなっているのかというものを確認して参ります。
0:27:07	不純物の増加の中で、
0:27:11	調整運転等をやって参りますけれども、それでも、駄目な場合、設備が故障したかどうかを判断した上で、
0:27:21	設備の保証でもないし、支援調整運転でも、
0:27:25	何ともならない場合におきましては、そういうもの液位を上げるとか、リカバリープラン措置を用いて、その後、作業を再開すると。
0:27:35	そう考えてございます。
0:27:41	7ページ目戻っていただきまして、6ポツの最終的な第6-1表の記載でございまして、すでにお出しいたしております。
0:27:56	玄関変更認可申請書の中で、6町表の変更前後の比較表というものを記載してございますが、それを別紙として付けさせていただきます。
0:28:10	8ページ目の長さになりますが、とは言いつつも、横断最初の第3段階以降の計画につきましては、検討中でございますので、
0:28:20	検討結果に基づきまして、性能維持施設の範囲、機能は平行となります。
0:28:26	したがいまして、廃止措置を安全かつ確実に進めるためには、今後、設備の詐取再使用であるとか、新しく設置するであるとか、
0:28:37	最適なプラント状態になるように、進捗に合わせて、SNSの範囲等を見直して、変更申請を行うということをして参ります。
0:28:49	ちょっと駆け足にはなりましたが、本日お持ちいたしました。説明しましては以上でございます。
0:28:59	はい、原子炉規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問、コメント等、規制庁側からありましたらお願いします。
0:29:11	アリヨシ説。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:12	6 ページの
0:29:15	リカバリープランは、
0:29:18	性能維持施設になるんだけど、ちょっとそれ特別な保全計画で管理 しますってことですよ。はい。
0:29:25	特別な保全計画でね。
0:29:27	点検長期間を要する分解点検簡易点検をやるって書いてあるんだけど、 これどこまでやるつもりですか。
0:29:36	そこまでいって、例えばね、
0:29:39	ずっとこう言われたものを作るのか、ポンプアップルーバーとかいろい ろあると思うんですけど、これみんなやるつもり。
0:29:50	今まで周期的に転勤をしてきていたので、その周期は、もう、
0:29:55	その上で、リカバリープランをは、
0:29:59	リカバリープランに用いる設備ですでに周期がきてしまったものってい うのが普通構図できますので、それについて、点検をします。具体的 には、
0:30:12	純化系のところのフロアが確か該当してたと思います。
0:30:17	ちょっと今、質問と回答がずれたような気がしたんですけど。はい。こ れわあそう読めなくて、はい。とにカクウリカバリープランは性能維持 ですよ。はい。でも特別な保全計画ですよ。
0:30:32	でも今回点検しますよと言われるわけですね、つなげていくとねはい。 そうすると、今の話、文化のいきなり点検間隔の話出てきたけれども、
0:30:45	要するに全部点検対象だったら、あれ、頻度がこれだけみんな点検する んですか。
0:30:51	リカバリープランで使用するやつはそうです。
0:30:58	結構大変じゃない。
0:31:03	数としてはそれなりにはあります。
0:31:08	多分、空中戦ですと、よくわからなくなってしまうので、ちょっとそこを 整理して、ちょっとまた次回お持ちします。考え方は一応きちんと、
0:31:20	守るべきは設備の性能を守らなきゃいけないと思っているので、点検計 画でこれまで定めていた期限、
0:31:31	定期、これは重視するようにしよう。
0:31:35	ただ、その重視をするときに、
0:31:38	重視しようと思ってる対象は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:41	その当該点検をしようと思ったときに、高低インパクトが大きいものだというふうに思ってます。
0:31:47	リカバリープラン自身が、工程の遅延リスクを抑えるためにやるものなので、
0:31:52	なので、そうすると、点検をやろうと思ったら、期間が、例えば3ヶ月とか4ヶ月とか、例えばですよ、それがかかるような、分解点検対象機器とかについては、
0:32:05	事前に計画的にやっておかないと、リカバリープラン。
0:32:09	を発売しようと思ったときに、点検が期限が来ると、意味がないというふうになってしまうので、そういう基本的な考え方を作った上で、対象となるタスクが何かこういうのを一応整理をして、
0:32:21	我々としては、それほど大きな負荷にはならないというふうに判断をして、これでやろうというふうに意識しております。今日ちょっとこの中には、今の話がですね、
0:32:34	上十分ちょっと足りないかなと思いますのでその辺少し補足したものをですね、ちょっと次回お持ちしたい。
0:32:41	はい。
0:32:42	コールドトラップのプログラマーがね、何か動けなかったっけ、それこそもう維持するつもりですか。
0:32:50	と思うわけですね。はい。だからそちらからすればなるべく合理化したいんだろうと思うんですけど、どういうふうに上手くご理解はそうですかってことだけ聞きたいね。はい、わかりました。
0:33:03	これ今まで読んで聞いてて、
0:33:06	リカバリープランもなんだけど、液位変更の操作が慣れるまでって言い方してるから、
0:33:14	もうそれは逆に自信がついたところで、0.5と思うんですね。
0:33:18	その有井、それは別にそれでいいと思うんですけど、具体的に、これからどういうふうになるんですかねって話わかりましたかなとは思いますが、じゃあ、その点も併せて、ちょっと工場の考え方をご説明できるように、
0:33:33	したい。はい。結局私の反対ではないです。はい。趣旨はわかりました。いえ。
0:33:39	せっかくやってもその合理化、合理化していかないと。
0:33:43	いけないと思う。そうするとね、今度は4ページ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:49	管理する。
0:33:51	だから性能維持から外すというのはよくて、それをまたね、自主的に管理してて結局お金かかるんだったら何なんだろうかと思うわけ。
0:33:59	この辺りちょっと中途半端かもってね、どうすんですかっていうのは気になった。
0:34:05	あとは個人的に思います。わかりました。
0:34:08	自主的に管理するものと、性能維持施設、
0:34:11	管理するものの違い等申し上げますと、
0:34:15	定期事業者検査をやるかやらないか、検査として性能を確認するかしないかというような機械が出て、
0:34:23	自主的に管理をする設備につきましても、きちっと管理をしていかなければ使えない。
0:34:31	になってしまいますので、そこについては管理をしなければならないなというふうに考えてございます。
0:34:37	えっとね多分こチラーの関心事項は、そうじゃなくて、検査するしないっての多分そちら事情があると思うんですけど、うちの紙でね、これ必要なものですかどうですか。
0:34:48	必要なものを落とすんですか落とさないんですかっていうところだと思うんですね。はい。
0:34:52	本当はもう必要がないと見れば、多分役所的にはそれで落としていて、あと実績管理しようかどうかどうしようかそれは皆さんわかってないんじゃないかなって気がすんですけど。
0:35:03	だからね。
0:35:06	ここに返ってるものが、そんな時もこれから必要なくなるんですねっていうのがね。
0:35:11	基本的にはやっぱ関心事項かなと思ってて、はい。
0:35:14	そういう説明が一。
0:35:16	まだ僕読み切れないんです。
0:35:21	今回の仕分けとしましては、プラントの安全を守るために必要で、
0:35:27	どうかというところで、そうでないものも合わせたら外しましょう。
0:35:32	今、
0:35:45	不安と安全って何ですか。
0:35:50	プラントの安全と申しあげましたのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:54	プラント運転中であれば、止める、冷やす、閉じ込めるというものがあって、それに対して、その機能をサポートする関連設備というものがございます。
0:36:06	で、今回性能施設の抽出の中でもその考え方は継続した上で、安全という。
0:36:15	お話をいたしました。
0:36:27	45点だ。
0:36:46	これ細田さん、今の趣旨は第2段階に入ったプラントのデータは何かと。
0:36:52	まずその説明がないってことですかね。
0:36:54	その通りです。何となくね。はい。現場で引っ張られてる気がするんですよ。
0:37:03	現場見、
0:37:04	それに上位の方の理屈を合わせてる気がして、
0:37:08	本質的には逆だろうと思うわけですけど。
0:37:12	今求められている安全って何ですかって言われたときに、この系統はここまでです。
0:37:19	ていうふうに言いきっと思わないと駄目だと思うんですよね。
0:37:25	安全設計上、
0:37:29	許可許可として見ている場合もものっていうのは、運転中の段階であって、
0:37:36	提出のときにも、要求があるものがあると思うんですよね。
0:37:43	いわゆる今今のような状況をかんがみたときに、
0:37:47	いわゆる設置直後の行間っていうのをどう読むかっていう話だと思うんですよ。
0:37:52	その行間っていうのを読んだ上で、ここまでの安全だというふうに理解をすると。
0:37:59	例えば算はもう潰してもいいと。
0:38:02	というような判断が出てくると、初めて現場として見た場合にどうなのかっていう話とマッチしてくると、ちょうどいい回答が出てくるのかなあという気がするんだけど、
0:38:14	何となくね元バーン
0:38:16	が優先ですっていうようなそこを聞いているような気がしました。印象論として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:26	わかりましたのでね。なので 40 億と。
0:38:30	わかりました。まず、使用済み燃料がプールの中に行きますので、その状態というのは、運転の時も挨拶段階でも変わらないので、
0:38:43	使用済み燃料の冷却に必要なところというのは、運転段階等、特段、安全という面での違いはございません。
0:38:52	で、他方で、原子炉の冷却っていうのが必要なくなっておりますので、その辺りについての安全機能というのは当然ながら不要となっていきます。
0:39:04	で、先ほどおっしゃいました、排泄段階で本当に何を守らなきゃいけないのかという観点におきましては、今の使用済み燃料の冷却 2 とか、できますので、
0:39:18	ちょっとその辺りをまとめて再度説明したいと考えます。
0:39:26	わかりました。
0:39:28	すいませんタケウチですけれども、
0:39:32	今、現場優先っていうことはありましたけど、
0:39:41	私なんか現場優先でいいんじゃないのかなあと。
0:39:45	思っていて、
0:39:47	お父さんがおっしゃってる現場優先と私の言ってる現場がちょっと違うのかなとは思ったんですけども。
0:39:54	何回かの面談前の面談で、長田さんが、
0:40:00	ホワイトボードで、
0:40:03	プラント状態を曲線で書かれましたよね。こうやって、
0:40:10	ブランドのそのリスクっていうあれはいえ、それに合うように、性能維持するか当てていくんだと。
0:40:20	常として並行でそう申し上げましたら、当時阿部さあがまでもそうなんだけど、いちいち一々しょっちゅうやっていたらとても大変なので、ある程度まとめて、
0:40:32	こうやらせて欲しいって言いましたよね。
0:40:36	私檀菅、その現場優先っていうのは、この、こういう、こうなんていう、
0:40:43	プラントの今の現場の、その状態。
0:40:47	こう言っていて、はい。それに合わせると、打ち合わせは主張していると思っているんですが、
0:40:56	その設置許可の行間っていうのがちょっとよくわからなくてですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:03	結局は同じことだと思うんですけど、
0:41:07	増、
0:41:10	現場っちゅうのはどうなんっていうんすかねんとうまくなんていんですけど、
0:41:19	要は安全設計として切っていいよっていうところなんですよ。
0:41:24	曲線っていうのは、
0:41:26	うん、うんその時点で求められる安全機能とは何かなんですよ。
0:41:31	そうすると絶対。
0:41:33	右下がりのカーブなんですよ。
0:41:36	山賀里奈の加来谷井田宮のかわかんないんですけど、
0:41:40	そこのときに、
0:41:46	ピーティングすればいいで、現場がどうだっちゅう話になると、下元バーから見た場合に、
0:41:55	どうぞ。
0:41:56	安全企業内でね。そう。例えば3系統ありますと、1系統どっか生かせばいいんですこの系統あんすっていう話になってくると、一番メンテナンスの楽な系統残すべきだと思います私は、
0:42:11	だから、何ていうかな。嘘。
0:42:14	僕はどうしてもやっぱり、その審査なので、審査っていうのを、安全審査当時の安全審査っていうのを見たときに、
0:42:24	当時のあれで精査っていうのはM A C C Sの安全であれば、今求められてるっていうのは何なのかと。すなわち、現場、現場の安全っていうとおかしいんですけど、
0:42:36	この元バーの安全っていうか、その、
0:42:39	必要な安全機能って何かなんですよ。
0:42:44	うん。今必要な安全機能って何かなんですよね、今必要なんですよ。ただそれがイコール、竹内さんが言う現場の安全なんだと思います。
0:42:54	私はそう理解しましたがけども、
0:42:58	ウチハシです。そうすると結果的にはおんなじことで、だからその、
0:43:05	もうおっしゃった今、今必要な安全機能は何かっていう形でちょっと考えてみてそれに対して、
0:43:15	この機器が必要かと。
0:43:18	というような論理で展開すればいいっていうことですよ。
0:43:24	うんそれでいいですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:27	わかりやすい議論で理解をしました。それで、以前面談の中で、輸送に応じて安全機能が所長に減っていったみたいな絵を出したことがあるんですけども、
0:43:40	その内容を説明すれば、今のお二方の印象にあるのかなと考えますので、追加の資料につきましてはそのような形としたいと考えます。
0:43:56	それはわかりやすいかもしれないね。はい、有吉ですけど。
0:44:01	今の羽根内川さんのイメージですよ。イメージは多分みんな共通で、細野さん言ったのはね、もう少し具体的なところ踏み込んだと思うんです。
0:44:09	今、求められる安全なんですかと。
0:44:12	この段階で、これが安全なんですっていうのがないと、
0:44:16	そのグラフには、それを書いておかないと、ビルは続かないと思うんです。
0:44:22	そうですかね。
0:44:23	おっしゃる通りです。
0:44:27	わかりました。はい。
0:44:29	ちょっと考えてみた。
0:44:32	城です。前回の面談でご説明したのは、第二段階の前は、荒において、守るべき安全原子力、ヨーロッパ、
0:44:44	昨日は何かということについては、
0:44:47	使用済み燃料の冷却の話と、系統内の放射性物質を漏えいさせないこと、この2点だというご説明をしております。
0:44:56	これが、ちょっと今日の資料の中になくて、それを守るために、直接機能しないものについては、削減できる方向になるよね。
0:45:06	で、削減をするというふうになったときには、とはいえ、安全機能を、は、直接的になってはいないけれども、
0:45:15	原子炉というブランドを維持していく上では自主的に管理しないものもあったりとかもするので、そこら辺の考え方が少しちょっと飛んでるかなど。
0:45:25	この辺りをですね、前回の面談で、ご説明した資料の中に入れながらですね、
0:45:31	もう少し具体的に説明していきたいと思いますので、多分、その辺の基本的な考え方を示さずにですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:41	これいきなり別表 1 の 13 ページのものにちょっとってしまったので、
0:45:45	いきなりこれを減らしていい理由がよくわからない。多いわかりにくいということだったのかなと思いますので、第二段階の中で、原子力災害の防止のために、
0:45:55	維持すべき安全機能は、第一段階から何が減って、何が残ってるのか、それをちょっと明確に出した上で、そこから、この別表 1 に関連してだからこれはいらなくなるんですとか、
0:46:09	いらなくなった中で、この辺りについては、自主的に管理していきたいんです。
0:46:14	ちょっとその辺りをですね、
0:46:17	かなり細かい話になり過ぎてですね書ききれないところもあるかもしれませんが、できるだけちょっとその辺をですね、説明を補強したいな。
0:46:26	これ、だからね 3 ページに戻って今の調査の話聞くとね。
0:46:31	①がね、安全機能を有する施設とか、閉じ込める。これ S F P ですかね。そうですね。はい。それから②番で大規模損壊でしょ。はい。
0:46:41	③番が本児の特殊性でしょ。
0:46:43	④か、安全確保上必要だって書かれるから、ボリュームはこれなんだって話になる。
0:46:49	ここにそうじゃなくて
0:46:52	安全っていうのはこういう項目あるってそれぞれ別個
0:46:56	書くわけじゃないかと今聞いて思ったんですけど。
0:46:58	だから、
0:47:01	城さんの言い方だと S F P の冷却塔から放射性物質の拡散防止、
0:47:08	と、あと何か大規模損壊、ナトリウム火災なんかね、わかんないけど、
0:47:14	まあ、そうですねちょっと頭整理しますけど。うん。大規模損壊は確かにやらなきゃいけないのかなと。
0:47:22	そういう意味ではだから、
0:47:24	それが原子力災害の防止なのか、一つの安全確保なのかというのも、一応色分けで整理をされていて、
0:47:35	10 ページと 11 ページ目を改めて見ていただくと、
0:47:40	10 ページ目の方の左上にですね、先ほど多分武内さん、藤細野さんで話された、安全の要求機能のカードの話をですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:51	機構が考える段階をイメージとして書かせていただいています、
0:47:56	原子力災害の防止の水色の話で、廃止措置という作業を進めていく上での安全確保を緑みたいな書き方をしています。
0:48:07	この中で11ページの方いただくと、
0:48:10	原子力災害の防止対応法のブルーの範囲に入っているところと、廃止措置の安全課の方としての安全確保上必要な機能を、
0:48:21	緑の話と、ちょっとこういう話になってくるので、
0:48:25	①番のお話を私先ほどしましたけれども、それ以外に、④番というのは、具体的には例えばどんな設備をそうだと思ってるんだと。
0:48:35	こういうのをもう少しわかるようにできればいいかなと。
0:48:39	わかります。はい。ちょっと時間をいただければと思いますが。はい。ちょっと頑張って整理していきたいなと。はい。ちょっと、ちょっと今の調査の話で、それは、
0:48:51	言われます。
0:48:52	中に今後3ページの、
0:48:55	今先ほど悪いお話があったんですけども、
0:48:59	作業木内さんおっしゃられた現場安全っていうのを、をイメージしたのが0に来てるってそういうような、言葉をいろいろ変えるかもしれませんが、
0:49:09	そういうようなイメージでも良い。
0:49:13	それとはまた違う。ちょっと、岩田さん違うから。そうですか。うん。うん。
0:49:21	その大竹さんが言っていたものは、私の理解するところと同じなんですけど、それは、
0:49:29	現場の担当課、担当者からすれば、自分の担当設備についてはきっちり委譲しなきゃいけないので、それを維持する方、
0:49:41	もう大橋措置をする上で、合理化していかなくちゃいけない
0:49:45	だけどここの合理化を、
0:49:47	変な合理化すると余計に負担を使って、
0:49:50	他のところに波及して、割れたところに行かれるものもあるので、要求機能は下がってはいるけれども、もう合理化するということ。
0:50:01	要は、系統で繋がってるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:04	単純にいらぬから止めるというわけにいかないと、こういう話になってくるので、その辺を、現場の感覚が大体合ってるんじゃないかというふうに言われたのは、今の話だと思います。
0:50:15	そういう意味で、この 1234 を踏まえて、実際にはこうできるんだけども、
0:50:23	最後⑤番で 1 種管理しておくものの中には、
0:50:28	宗を残しておきますっていうのが、そういう話を多分されたんじゃないかなと思う。
0:50:34	もうちょっとそれは前と今おっしゃったような話がうまくこう、そうですね区別がこの場でできれば、そうですねそう少し、
0:50:50	青野さんに対する答えにもわかりました。
0:50:54	はい。なので、ちょっとねだから一つのものが、このフローで一番途中だったらわかりません。そうそう。
0:51:03	2 番で大城古屋さんとか、3 番にねどういう施設に戻ったものなのか、4 番に戻ったものが、いろいろあるかなあと思っています。
0:51:14	それをですね、一つ一つちょっと識別を、をするのは、私が予定している疑問視スケジュールに間に合わなくなってしまうので、
0:51:26	その辺りのイメージので、
0:51:28	もう少し具体化できるように、主要なものをね、少し例示をさしていただいて、こんなイメージで、12345 を整理したんだと。
0:51:39	いう話をちょっとさせていただきたいなと思うと、
0:51:43	それとあわせて先ほど面談として維持すべき。
0:51:46	昨日、道路についてどう考えているのかという話をちょっとさせていただきたいかなと思って、
0:51:55	第 2 段階、前半のことだけ考えれば、
0:51:59	やる方には、
0:52:01	新しく始まる公用における範囲だけしかありませんので、
0:52:06	そういう意味では、
0:52:08	この廃止措置の安全確保、安全機能というものにつきましては、それほど追加するものがないというふうに思っています。
0:52:17	労働安全の観点だけだと、
0:52:19	いうふうに思っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:21	なので、この緑の範囲の件については、次回イメージジョウ系の解体作業についてご説明をするときにですね、大体ご理解いただけるんじゃないかなと思っていたので、
0:52:33	このブルーの方、原子力災害の防止対応をというところについて、補足説明をさせていただくと、大体全体のイメージが伝わるんじゃないかなというふうに考えたということなので、
0:52:45	ちょっとかなり工夫修正になってきておりますので少し整理をさせていただいて、いくつか具体的な設備の例示も出させていただきながらですね、ちょっとその辺を、
0:52:56	また次回でもご説明できるようにしたいかなと思います。次回増えてますけど、24はちょっと届かないかなと思いますので、国のポンプが7%ぐらいとかね。
0:53:07	その辺のご説明ができるように、できないかなというふうに思って。
0:53:12	ちょっと持ち帰り、担当者の予定もちょっと確認してみて、もし、できるだけ9月7日できるちょっと調整したいかなと思います。
0:53:22	ちょっとすみません、一度その辺については持ち帰りをさせていただければ。
0:53:54	これ、
0:53:55	今日は大丈夫ですけども、
0:53:58	13ページ以降の別表1っていうところで議論します。
0:54:02	プレイヤー。
0:54:09	よ、容量がなくなったかだけ出しますってのはわかりやすくいいと思うんですけど。
0:54:15	多分あれですよ、あと減らしますっていうのは本当に必要なルールだけに絞ってしまって、逆に指、余裕はなくなっちゃうかもしれないんだけど、もう急ぐ必要がなくなるから、
0:54:26	すでにどんな03も理屈があって、
0:54:28	だから減らしていいと、多分そんな話かなと思って聞いてたんです。
0:54:33	ただね、昨日の換気空調系でね。
0:54:37	こっちは残しますでしょ。
0:54:40	S Gの方は例えば減らしますでしょうか。
0:54:43	この違いは何ですかねっていったところがね、
0:54:46	どころか、
0:54:48	だから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:49	衛藤燃料だけナトリウムがあるところの換気空調残ってて、
0:54:54	水食系とか、
0:54:59	3 ページか。
0:55:00	そっちの方はもう書いてあるから、
0:55:03	残さないと、ということですかね。
0:55:06	そうですね
0:55:08	非管理区域のところにつきましては、性能維持施設から把握します。
0:55:13	で、管理区域につきましては、この表の中で、台数を減らしていくという ような整理をしています。管理区域のところは気持ちで残して、熱負 荷が下がった分だけ出しました。そうですか。はい。
0:55:34	後で、この平均をざっくり書かれて、
0:55:40	ちょっと1個1個、もうちょっと、
0:55:43	具体的な内容を確認する必要は、
0:55:46	あるかなと思って。
0:55:49	例えばですね、
0:55:54	これは
0:55:56	申請載せるかどうかってちょっと番だと思うんですけど熱負荷について も具体的にどういう負荷がぶら下がってて、これがこれを使う、これし か使わないんで、これで使うこれだけだから、
0:56:07	減らしていくっていう説明を、ちょっと具体的に確認する必要があると 思いますし、また、
0:56:15	ですね、
0:56:18	はい。
0:56:20	ちょっとチェックになったのはきっちり
0:56:24	15 ページのスプレイ冷却適格、
0:56:29	凍結装置ってというのがあって、
0:56:33	愛知結構します。
0:56:35	もし、1 系統が駄目になって、酸素濃度が上昇した場合でも、
0:56:40	窒素を注入廃棄することで、維持が可能であるっていうふうに書いてあ るんですけど、これ、具体的に、
0:56:46	どういうふうに維持が可能なのかってというのが、ちょっとこの説明だけ だと、
0:56:51	わからないので、設備の詳しい人はわかるのかもしれないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:56	ちょっとわからなくて、なるほど。はい。もう少し補足をさせていただきますけれども、このファンが動かなかつたとしても、関野ラインから窒素を注入できると入れない。
0:57:08	いうことを書いたつもりであるんですけれども確かに説明が不足してございますので、そこは補足させていただきます。
0:57:19	を、そうですね。そこのこういう説明を、
0:57:24	ちょっと付則取得丁寧にやっていく必要がある。
0:57:29	なあというふうに、
0:57:31	思います。
0:57:33	それで、ちょっと話が戻りますけれども、要領の内容につきましては、例えば 21 ページ目の、別紙 1 の中では、
0:57:44	少し停止をめぐっていただきまして、
0:57:48	20、フェース目になりますけれども、
0:57:53	勉強としては、こういう形でどんな設備が今かとしてブランドがあつておつて、その中で、設計図には、
0:58:04	一番上の、
0:58:07	一次集冷却水循環ポンプ N G セット油レジャー朝礼等を設計時の場合、それから、現状は 0 でございますが、
0:58:18	そんなふうに使わなくなりましたというので計算をしてございますので、
0:58:23	その辺りを
0:58:26	そうですねアメリカへ。
0:58:28	回収できたっけ。
0:58:30	はい。福井に説明した配管換気設備とか見ると、はい。何か大分説明があつて C 3 番。
0:58:38	はい。見ると、はい。
0:58:41	ちょっと量が多いっていうのもあるのかもしれないけど、
0:58:43	大丈夫だ。
0:58:45	そうだっていう説明なのかなっていうふうに、
0:58:50	それでも 50% 出力でも 70 度以下に保つことが可能であるって、言葉では書いてあるんですけど、はい。
0:58:58	ちゃんと具体的に確認した、記して、してこういうふうには書いてるんだと思うんです。
0:59:03	ちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:06	そうですね。
0:59:08	現状 50%で運転した時に室温がどうなのかというところで、この値は書いています。はい。で、
0:59:17	そのバックデータ困るようなところを、を整理してご説明すれば、はい。多分、エビデンスとしてこの内容がご理解いただけるのかなと。
0:59:28	そうですね。
0:59:30	はい。
0:59:37	えーと、
0:59:38	ちょっとさっき、海水徹底と、
0:59:41	比例の話が、
0:59:43	出てきて、
0:59:46	特にちょっと細かいんですけど、
0:59:51	24 ページですね、RCW
0:59:54	A系B系C系がありますので、C系は日経とで、
0:59:59	一次系AMGセットっていうのが冷却用になったので、タンク変更しますよってなってますけど、これってリカバリプランも含めた検討で、
1:00:08	井関石神改修ってことで、はい。
1:00:15	これ伺いプランで一次系のMGは使わないんです。そうですね。循環ポンプをおっきな流量で回す時に、外山一つになりますんで。はい。これ必要あります。わかりました。
1:01:15	その下越智エリアも見たんですけど、
1:01:42	の方に、14 ページ目の一番上では、
1:01:48	あ、そういう。それで、①番。
1:01:51	泊伴っていうのは、はい。
1:01:53	①番はすごくよくわかるんですが、はい。
1:01:56	②番って具体的にはどういうものか。
1:02:00	えっとですね。
1:02:03	29 ページ目から、エリアモニターの説明をしております。別紙の2をつけてございますけれども、
1:02:10	この中で、ページをめくっていただきまして、36 ページ目に、
1:02:15	今回、外部段階で運用を呈するエリアの一覧というものを作っております、一番右のところに①とか②とかありますが、
1:02:27	35 番以降、2、②の本はよその、
1:02:32	でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:37	土谷さん僕もね。はい。丸井さん、よくわかんない。
1:02:40	はい。32 ページに書いて。
1:02:43	いるんですけどはい。第一段階において変動がなかったから第二段階に置いて、可能性がないエリアと書いててね。
1:02:52	実はこれがね、ピンとこないんです。
1:02:56	サンプルを示されてもね、はい。
1:02:59	今、
1:03:01	根井
1:03:02	結論から言うと、はい、第2段階。
1:03:07	放射性レベルの変動する可能性がないと言い切れば、多分外せるんだと思うんですけど。
1:03:13	第3段階もいらないよね。
1:03:17	だからね中途半端な加工、
1:03:20	第一段階でどういう関係があって、第二段階はどう繋がってて、何が言いたいのかってのは差っ引いてこないですか。
1:03:27	ここで定義を少し見直しとかいいんじゃない。なるほど。
1:03:35	そう。
1:03:37	相談しながら、2番の定義については、もう少しわかりやすい定義を作りたいと。これ具体的には何が言いたいんですかね。1番目はわかりやすいよね。全部なくなってもう1件じゃないから。
1:03:51	あれ、河口倉岡。
1:03:54	こっちが何なんだ。
1:03:56	汚染がない。
1:03:58	そうです。
1:03:59	千賀永尾線もなくて、
1:04:03	いろいろ分解点検やっても出てこないから、そう。はい。
1:04:07	すいません。
1:04:09	衛藤文安全管理課の長谷川ですけども。
1:04:12	先ほどの②番のところですね、今、有吉さんがおっしゃられた通りですね。
1:04:18	これまでも、当該エリアについては補正が発生。
1:04:23	しておりませんし、第2段階においてもですね、例えば、
1:04:29	ここにあります廃棄物教室補修設備リレー盤室、電気盤がいっぱいあるようなところでして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:36	第二段階でポイントもそういったところについては汚染が発生する可能性はないと。
1:04:41	そういったところから考えまして、今回、
1:04:46	コンターを運用停止しても問題ないだろうというふうに判断したものです。
1:04:51	はい。そういう理解でいいんだっいたらいいんですけど、だったらそう書いて欲しいな。申し訳なかったです。
1:05:04	そうすいません、ありがとうございます。
1:05:12	③番は、次これ修正資源遮へい体を取り出すまでは、管理するってことですねそうですね。はい。
1:05:21	これはね、123を並べて書いてるから、市野岩根君もうやりませんでしょ。あれ3番はちょっと残りますでしょ。だから同じ価格ではない。わかかないんですけど。
1:05:31	書き分けて。うん。なくなるのは1人で大丈夫。そこはもうすぐ連絡します。ちょっとまた残ります。河村さんですと、第6項がなくて、こうなったらやれますというふうにちょっと書かせていただいでるんで、
1:05:50	もうすでに一応申請書の中の範囲に入ってるので、そういうことね。確かにそれでね、37ページ見たらそ書いてるから、
1:06:00	だから、ちょっとね、わかりにくいし、この時期がきてないのに、今、このタイミングで、これをしなきゃいけないのかというところについては、少し議論の余地がもしあるかなとは思っておりますけれど。
1:06:16	我々としては、いや、すいません私ありました。はい。ご説明できたという、よろしかったでしょうか。加藤さんがよろしければ、
1:06:29	あとですねちょっと個別の話なんで、
1:06:34	例えば相場というか、
1:06:37	36ページ。
1:06:39	はい。2段目ですね。
1:06:43	似た44件で、
1:06:46	燃料交換機等の骨子を行うエリア。
1:06:50	って書いてあるんですけど、
1:06:51	これって第2段階でも、燃料交換金、
1:06:55	補修はする。
1:06:57	そうです。
1:06:59	燃料交換機で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:03	一次系の
1:07:05	環境の中に入ってると思う。
1:07:08	それを取り出して補修するエリア、
1:07:11	これって何かしちゃっていいんですか。ここはだから第一段階を何度かやっています、
1:07:19	有意な変動がなかったという実績をもって、
1:07:22	第二段階中は、もう一つは、日本第三課で、
1:07:34	浮き上がってないしないぞ。そうですね。事故実績で、ここは、はい。出て来ないから、もうこの人でませんか。どうぞ。
1:07:44	いうことはそれで洗浄処理も全部終わった後の分解点検になりますので、そういう意味で、定義のところで、おっしゃる通りで、
1:07:57	これまでの経験のところで、全部上がってないっていう意味は、そこでメイクなんかもやってきているし、同じことを今度やるんだけれども、それはどういう、そうですね、そうですね。
1:08:13	だから、今では放射線ですとか、
1:08:16	関わる研究等で、コンドウはっていう話にならない。
1:08:21	分類の方は、
1:08:23	わかりました。申し訳ありません。
1:08:26	山崎。
1:08:29	鍋田さん行けるから今の、
1:08:36	承知しました。衛藤。
1:08:39	今おっしゃったのは第一段階でも、もうちょっと具体的に、
1:08:44	第一段階で、これこれこういったところでやってきたけども、
1:08:50	エリアの線量時数が変動するといったことを経験はなかったというところを書いた上で、今回なくしますと、
1:09:00	というようなところを書けばいいのかなと理解しましたが、いかがでしょうか。
1:09:04	これまで大瀬の話もちゃんと、
1:09:09	すいません、ちょっと聞こえなかったんです。だから、線源が何かっていう話も時にしてた。
1:09:16	さっき宣言放射線は、なるほど、わかりました。それで、
1:09:23	第1小学校で誰だからこうだからっていう、ちょっと親切に書いて欲しいんです。
1:09:28	承知しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:30	②番のところに、丸ごと多分一般的には書けないと。
1:09:34	で、こっちの表1の方の②というふうにさしていただいているところについて、少し、
1:09:41	もう少し丁寧に書いて、だけど0になる定義までわかりづらいかな。
1:09:51	そうですね。
1:09:55	ちょっと検討させてください。はい。
1:09:59	検討してください。とりあえず、はい、岡です。
1:10:03	素人が読んでパッと貼り出して、
1:10:15	あとすいませんちょっと私ばかり出雲市、
1:10:20	ちょっと神戸5ページなんですけど、リカバリープランで使用する、
1:10:26	清野伊勢施設の説明が、
1:10:31	その性能維持期間の読み方の説明が書いてあると思うんですけど、
1:10:37	ナトリウムをタンク等に枯渇するまでっていうのは、
1:10:40	一時的に固化した状態はそれには当たらないんですよっていうふうに書いてある。
1:10:46	ですけど、はい。そうすると、
1:10:50	その今の性能維持施設の表、表を見ると、
1:10:55	同じような書きぶりでも、性能維持を終了してもらおうと、そうじゃないものがあるっていうことになる。
1:11:02	ちゃうんで、そこは何かもうちょっと、
1:11:06	小で明確にした方がいい。
1:11:09	そうですね。はい。思ってるところはあれですね、柿崎が検討、
1:11:14	9月の7日の段階で維持期間が終了した施設について、どう表現するかというところで、すでに終了しているものについては、表現化ですので、
1:11:26	残っているものが、今おっしゃったような、
1:11:30	いうふうにか。
1:11:33	あれですねカトウ3種切り分けてないと分かんないからっていう趣旨。
1:11:38	一次的ってのは、そう。
1:11:40	終わってると、終わってるつかないよね。
1:11:46	ちょっと考えて、見過ごしてはいじれない評価作業ってどうか。
1:11:51	慈恵のタンクなんかそうだと思います。いや、いやあれはい。
1:12:00	それを吊りのテレビに入れたかどうか。
1:12:03	なるほど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:05	今の一時的の定義の中では、二次系のように、今度を移送するときに、溶融するものについてはその中に含めて、はい。
1:12:17	含めてなくて今度二次系を評価するときに、また復活する。
1:12:21	そっか。
1:12:23	そうです。性能Gなのかちょっとそこはこれからの検討なんですけれども、移送のための機能っていうのを付加をして、その
1:12:32	機能の中で、
1:12:35	搬出していくというようなことを、
1:12:38	検討するのかなと、ページを移動しないで、別の形にするということ。
1:12:43	とりあえず、今日は回答は控えませんか。
1:12:49	1度
1:12:51	言う通りです。
1:12:54	例えばは、58 ページの弁護士、理事と、
1:13:00	さっき一次主冷却系、循環ポンプ、
1:13:04	あと飯尾さんと、
1:13:08	入って、
1:13:10	一次系のナトリウムは、1、一時的に交換してるだけだから、性能維持なんですよっていうふうにしてしまうと、
1:13:20	この修繕集約系の循環ポンプも、
1:13:24	生後1時台に、大分アプリ欄が終わるまでは、
1:13:30	維持しなきゃいけないってことになって、そうするとさっきの
1:13:34	頭を綺麗な話に戻るんですけど、
1:13:37	COの1系統を聞きますっていうのは、
1:13:42	類似として残ってるのに、
1:13:44	起きればこっちはいますっていう話になっちゃってちょっと矛盾してきちゃうんじゃない。
1:13:49	これはですね、トリウムを入れて、
1:13:53	流すラインにどうしてもポンプが入っているので、そこだけ性能維持施設から外すというのはできなくて、
1:14:00	この高冷却ループの中に充填をしたときに、ナトリウムが入るものは、すべてリカバリープランですよ。
1:14:09	その上で、
1:14:12	益が上がればいいので、例えばこう循環する必要がなくなってくるので、それに必要なところは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:20	なるほど。
1:14:23	そうすると、何かそれをなんか上手く、
1:14:27	この商標なり何名、とかというところなのかもしれないけど、
1:14:31	他評議する必要があるんじゃないかな。
1:14:36	そのC Tのほかの話を説明した方がいい。
1:14:44	C系の
1:14:46	鵜飼。
1:14:47	では、
1:14:49	MGセット関係ですね、そうなので、
1:14:54	周電動機で行きポンプを回すとき、必要な設備
1:14:59	で、
1:15:00	今、本人も田岡してる場所は、
1:15:03	この機能は、
1:15:05	大してない。
1:15:07	なので、多分そそのぐらいまで踏み込んでちょっとご質問したと、この o r CWのシーケンで負荷の話と、
1:15:18	一次主ポンプを性能施設として残すことが、矛盾しないという話が御説明できるかなと。
1:15:28	堂本さんの質問でそういうことを、
1:15:32	そういうことではないですか。いやそれもあるんですけど、そもそも何か、それを同じくその名取にタンクに固化するまでで、
1:15:41	これ1週間に定義しちゃっていいのか。
1:15:44	疑問。
1:15:48	そうすると、ナトリウムを担当に固化するまでっていうふうに記載している。一次系主冷却設備っていうのは、
1:15:55	フェーズリカバリープランが必要なくなるまでは、期間に入るっていう理解になる。
1:16:04	それで
1:16:07	27 ページ目のところで、先ほど
1:16:11	負荷としてなくなるところを気にされておりましたけれども、RCWS 数のところで、設備を減らしたからといって、
1:16:22	この設備が冷却できなくなるわけではないので、
1:16:27	必要な容量は残しているんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:34	先ほど城が申し上げました、一次系の収斂動機を冷やすようなところについては、もういらないので、
1:16:41	その分の負荷を減らした容量の取
1:16:44	組数、
1:16:45	ところでございます。
1:16:51	議論も含めて、
1:16:53	私もちょっと、僕はもう加藤さん。はい。18 ページです。はい。ポンプってというのは、特に気が付いたんですね。特にナトリウムタンク等に固化するまでという書き方に、ここは、
1:17:05	これではよくわからないという疑問だったと思うんです。
1:17:09	よくわからないってというのは、一時的に公開するという扱いが、他の
1:17:16	ところもあるとしたら、ここはリカバリーで、これだけ記載がいいのかといった形に超えたっていう、
1:17:24	違う、そうそういう疑問だったんですけどさっきの説明だと、そのアトリウムを担当に降下するまでって書いてあるものは全部リカバリープラン使う。
1:17:35	そう。受験者については、見た一次系の方はちょっと、そうしなきゃいけないいやそれはまず衛藤の答えでは満足しなくて、
1:17:47	負けてくれっていう、それはそれでそれ、その上で、その実施冷却系時間報告っていうのは、
1:17:56	事務施設なら、
1:17:57	衛藤。
1:17:59	沖例の下から博士は駄目なんじゃないのかっていう。
1:18:03	だったんですけど。うん。それについては、何かAMGペットってのもう使わない。中森プランナーは使わない。
1:18:09	から、市民、はい。
1:18:12	本当に個人ただった、出て、
1:18:16	循環っていうから、
1:18:19	ゴトウさん、リカバリープランの中では、国本の順カーンをしないですよ。
1:18:27	リカバリープランの中ではN U L である場合はポニーモータを循環した方が循環が早いので、ここにモーターが循環する予定ですか。はい。受 S s L でそのまま循環をするっていう話になると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:40	命令と純化系を使って循環をするので、その時にはここにモーターまわしません。
1:18:46	一応、リカバリープランは二段階を用意してますので、
1:18:53	代替ポンプだけあって、絞ったところ、ここに書いてないこれ、そうですね、ここにある。
1:19:01	いやポンプ本体は共通で、ウォーターが違うんだけど、
1:19:08	じゃあポンプ等とリポーターだけかは性能維持でスポーツ合わせる時ではない。
1:19:13	そうです。
1:19:16	事です。阿部さんおっしゃる通りで、
1:19:20	一部勘違いされてるところがあると思いますけど、ここにモータABCの冷却してるのがRCWABCではございません。
1:19:28	ポニーモーターの冷却してるのはこの他の冷却ファンですので機器冷却系冷凍機になります。
1:19:34	天田カトウさんの最初の疑問に答えると、ここにね、
1:19:39	これ8ページ2、しもうた廃棄ですとか、いけないかもしれない
1:19:49	でも、
1:19:50	まあ、あの感じじゃないよねなんかあの地域がいろいろ扱って、仕事は全部いらなかったそうです。いやあんまり細かく言えないけどこの書き方は、別に
1:20:04	除熱はもう要らないという、それだけでいいかもしれない。
1:20:14	これ判定なんかりカバリープランの説明のところに、
1:20:19	刀禰ないから、それはこっちが、それはそちらにいたします。
1:20:26	これ、これだけ見ても、ちょっと関山なるほど。
1:20:31	はい。
1:20:33	うんそうですね最初の澤井さんですね、そのリカバリプランで、
1:20:40	メンテナンスする、
1:20:42	今どういうものが、
1:20:43	どういう考え方でどういうものをどういうふうにやっていくのかっていうのは、しっかり説明があれば、
1:20:49	わかるのかそういう。はい。
1:20:51	はい。
1:21:43	は規制庁側から何かありますか。
1:21:48	鳥羽宗ウエノです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:53	系統削減するっていうことの、
1:21:56	説明の少し
1:21:58	補強という関係なんですけど
1:22:00	資料は 110 億円、49 ページで、
1:22:05	予備機の削減っていうところで、
1:22:09	復旧までの時間的なものが十分にあるという、
1:22:15	最後に 2 行目のところにあるんですが、
1:22:19	これも何かもう少し強い、
1:22:22	第一段階で止めても、
1:22:25	温度が上昇しなきゃしなかったんですとか、さっきあの 30 度を聞きましたとか、
1:22:30	そういった、
1:22:33	だから実績みたいな実績でもいいし、具体的 2 何時間っていう説明ができるのであれば、何時間っていうのもあるかと思うんですけど。
1:22:43	それぞれに、その予備機を削減するものについては、
1:22:49	何かそういう説明が補強ができますかね。
1:22:58	具体的にどのぐらいの字カーンまで止められるか。
1:23:04	そういったところについて、
1:23:06	資料がお出しできるかというのは、ちょっと持ち帰らせてください。
1:23:11	いえ、十分な余裕があるものをあまり細かくやると、しょうがないのでその実績で示すとか、
1:23:22	何か工夫してもらえればいいのかと思う。
1:23:26	少し検討さしてください。
1:23:28	はい。
1:24:08	よろしいですか。
1:24:15	じゃ、規制庁側からよろしければ、最後をお願いしますじゃ、ちょっとマイクロゴートに関して、ちょっと宿題というか説明が足りなくて、
1:24:25	説明してから戻ってこういうことだな。
1:24:28	理解したので、ちょっと、
1:24:30	一つ確認させてもらいたいと思います。
1:24:35	リカバリープラン設備は特別な保全計画で実施するんだけど、
1:24:41	どういった機器を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:43	いつ連系するのとかという考え方と、実際、物は何かというのを、丁寧に説明してください。これ説明されないということで作っていただいたと。
1:24:54	ところでサジェスションいただいて、例えばCTフロアなんかは堀田にある1台でいいんですか、そういう合理化の考え方を持ってるので、そこら辺を盛り込んでしっかり、
1:25:04	よねっていう意味で、そういう所をいただいたと思う。
1:25:09	で、2個目。ただ、はい。1点目のその点検ってというのは、多分、分館経験っていう時間のかかる点検の後ですね。はい、そうです。
1:25:20	そうです。
1:25:32	はい。ありがとうございます。時間どうぞ。はい。
1:25:35	失礼します。
1:25:38	2点目ですけれども、
1:25:41	大体、現段階において必要な安全とは何でしょう、それを示して、それに対して我々いうものを挙げて、最終的に別表1の方に、
1:25:55	その考えを持って整理するようになります。
1:26:06	はい。
1:26:11	そういう、最初の第何名必要な安全とは何かというのはもともと設置許可で安全設計にあって、
1:26:18	そこで安定的はこう考えたんだけど、一つの今の段階では、
1:26:24	この
1:26:26	もともと10あったものに対して5になる。
1:26:28	それが必要なんですに対して必要ですよっていう。そうだ。
1:26:32	ていうところを考え方と示して、とにかく必要の1個1個説明に繋がるようにしてくださいという。
1:26:38	今日はちょっと、
1:26:40	すいません。
1:26:41	はい。確かに、設置許可の話ありましたけど、
1:26:44	設置許可から説明しなきゃいけない。
1:26:46	第一段階だとかで、できればご説明をさせていただきたいかなと思っていて、そこらの面談の時も、
1:26:54	設置許可から、
1:26:56	ようなイメージになっちゃってるので、
1:26:58	どちらかという、この5月の面談の時、ご説明をさせていただきました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:06	この方法M i l l s t o n e に応じて、江田に何かに移行することによって、維持すべき機能が何が変わったのか。
1:27:15	だから、別表1のところを削減できると考えました。そのぐらいにならないかなと思うんですけど設置法から始めると、何かどういう場、
1:27:28	多分、毛利尾関細野さんそれですよ。
1:27:37	支払い認めます。まずは、すいませんが、できるだけご理解いただけるように、できるだけ努力したいと思いますけれども、
1:27:48	面談の時にご説明させていただいたものが抜けておりますので、というか、そう言葉面もそうだけど、趣旨がわかるでしょ。運転段階からって話で今、ちょっとさ、
1:28:01	はい。いいんですよ。はい。運転段階で設置を求められた方向なんだけど、今こうだっていう、そういうことであって、
1:28:09	わかりましたそんなにやるべきことをやればわからない。はい。
1:28:14	言葉に移る必要はないんじゃないですか。私の個人的な意見は、はい。ありがとうございます。
1:28:23	はい。
1:28:24	江藤真人滑川何かで我々別さんで、1から4してるんですけど、一番、一番、2番、3番。
1:28:33	言うたんですけどそれが一体何かというのがわかるように説明として報告して欲しい。
1:28:43	3点目は別表1関係で、具体的に1個1個見ていった中で気になる点を挙げていただき、
1:28:51	その説明を補強することだということで宿題もありました。
1:28:55	一つ挙げられたのは種類の基礎力、潮汐装置なんですけども、それが当時止まっても、NIIの雰囲気維持されるっていうのは、なぜこれで9
1:29:08	できるのかっていう説明が不足してますね。
1:29:13	換気空調系設備であれば、50%ですか。
1:29:18	これいうところ書いてあるんですが、エビデンスというか、実績等で、そういうことを占め、
1:29:26	あと、エリアの委員会の整理、②の記載がちょっと明確で、
1:29:32	読んでもわからないので、汚染がないのではないということをさっきに対してわかりやすくすること。
1:29:39	レジーム関係ごとの、
1:29:43	もう放射化してないというところもしっかり書けばそれを説明

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:47	している。
1:29:50	あと、復旧までに時間がかかるという、復旧までに時間余裕があって、それから余裕がある。
1:30:01	ものについてはどういうことが、例えば何時間、
1:30:05	余裕があるとか、そういうのを間違えているという。
1:30:10	これ、すいません定量的な丸々時間って人気ではなくて、
1:30:16	この復旧までに時間的裕度っていうのは、例えば、代替としてこういう方法があるからとか、そういう御説明。
1:30:23	そして吉井層と別に視力越冬第一段階の自主的で、
1:30:31	温度が上昇しなかったからっていうのもいいし、
1:30:34	いや、最悪作業中断すればいいんだな。そうそう。そういう意味ですか。はい。はい。
1:30:40	我々がそう判断した理由をもう少しちゃんと書けない。それがないと、カツカツで良っていうのは、うちはよかったよ。そうです。
1:30:50	だから、その時間は、一番最後ではなかった時間を、
1:30:57	はい。
1:30:59	いいえ。わかりました。はい。藤元です。すいません換気系の停止の余裕の話についてですけど復旧までの時間余裕という話で
1:31:09	ずっと定量的に示すのはすごい長い時間を、
1:31:14	余裕が持てるっていうところなんですけど、実際扉を開放したり作業を停止したり仮設のファンを置いたりっていうところの実際の具体的な対策っていうところをお書きするという形でよろしいでしょうか。
1:31:28	そういう対策がありそうな気がします。
1:31:31	という言葉ですかね。
1:31:33	そうです。いや別に今細かく超えてるわけじゃなくて、こういう説明を受けてるって言うだけ。
1:31:42	了解しました用件感染っていうことで、
1:31:47	はい、わかりました。
1:31:50	すみません、さっきの設置許可のところの安全とは何かなんですけど、
1:31:57	ここ大事で、
1:31:59	ここはイメージ、しっかりとし、明確にならないと、じゃあ何でこれ外していいのかわかんないから、
1:32:06	そこはよくよく検討していただきたいなと思います。
1:32:12	高屋技師。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:16	羽鳥馬場さん。
1:32:17	運転停止して、電力出して、まだ、
1:32:20	僕リストなんちゃうね。そう。
1:32:27	はい。
1:32:29	はい。佐藤最後、江藤さん工藤に戻す場合だいたい、
1:32:33	令和二次系であったら、公開して維持終了しているだけ、一次系も同じ機械がわからない。
1:32:41	そこら辺は説明を、
1:32:43	違いがわかるよ。
1:32:45	今日鬼頭県、
1:32:47	我々もほとんど認識されて、ただ、9月、
1:32:54	今日いただいたのは以上だと思っております。
1:32:57	何かって言うと、
1:33:03	吉井。
1:33:05	別表1の話は、あくまで例示なんで、ちょっと1度ちょっともう1回絶対入っていただいて、
1:33:13	はい。
1:33:14	はい。安井ところは、
1:33:19	桧垣様。
1:33:32	はい。どうもありがとうございました。
1:33:43	はい。ありがとうございました。他へとオンラインでつないでいる方から何か確認しておきたいこと等ありましたら、お願いします。
1:33:54	専門外です。格納容器関係の30度以下に、雰囲気温度を保つことができるという記載について実際のデータがあるかという話でしたけども、
1:34:05	こちらについてはデータ採取しておりますのでこちらの方で示したいと思っております。
1:34:11	あと1点、もう1点、終了しつつ、格納容器原子炉容器のNⅡ循環は窒素雰囲気循環ファンの
1:34:21	NⅡを注入すれば酸素濃度が低く保てるというところですけども、N循環ファンを、を巡回しながら基本的にはNⅡ注入してパージしてっていう形をとるんですけども、
1:34:33	停止したとしてもNⅡと供給系から、圧力差によって10して排出できるという形で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:42	その意図で書いてございますのでそこら辺のことがわかるように記載したいと思います。
1:34:47	以上です。
1:34:49	はい説明聞くと何となくわかりますので、それをはい。資料でわかるようにしていただければと思います。はい。はい。
1:35:02	よろしいでしょうか。
1:35:08	と文科省横井さんから何かございますでしょうか。
1:35:13	はい。横井です特段ございません。ありがとうございます。
1:35:16	はい。ありがとうございました。
1:35:19	よろしければ、本日の面談はこれで終了にしたいと思います。本日どうもありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。